

★神戸ファッショントピック
＜神戸のファッショントピックをめざす＞

コウベ ファッション ソサエティ

K.F.S. news 95

事務局／神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
月刊神戸っ子内TEL (078) 331-2246

- 5月のマンスリーサロン
——恒例野外研修——

岡山・大原美術館 訪問記



5月のマンスリーサロンは恒例の野外研修になっており、今回は、柳の枝が垂れ下がる堀割に沿って白黒の、“ナマコ壁”的な家並みが続く古き良き時代の面影を残す、“まち”倉敷を訪ねた。13日の日曜日、薄雲の張る大空、五月中旬にしては少々肌寒さを感じる天候であったが、柿本会長ご夫妻を含め、3組のご夫婦の参加を得て総勢16名で新神戸、8時46分発の新幹線にて出発。途中岡山駅で、新米ガイドのせいで右往左往させられたが予定通り10

時24分、倉敷に到着。さっそく徒歩で大原美術館に向かう。美術館本館では春の公開講座のなかで、「85年春夏の色の傾向はこの画家達の画く絵の色ですよ」と紹介された画家、印象派の巨匠モネ「睡蓮」写実派のコローの「フェルテ・ミロンの風景」、繊細な筆づかいのセガンティーユの「アルプスの真昼」、モネと同じ印象派のシスレーの「風景」、ルノアールの「泉の女」セザンヌの「水浴」ユトリロの「パリ郊外」17世紀に画かれたと言われているエル・グレコの「受胎告知」いつ訪ても一番最初に出来たい、出来て、ほっと、するモローの「雅歌」等を相交らずの雑沓のなかで鑑賞する。陶器館では浜田庄司、河井寛次郎、バーナード・リーチの作品、版画館では棟方志功の作品を鑑賞、染色館東洋館を経てひとまず館外に。さて星

食となつたがなにぶん狭い地域なのでどこかの食堂も食を求める人で溢れています、どうも2時過ぎでないとありつけないのでは、と心配をしていたが運良くアイビースクエアの食堂で定時より少々遅れたが昼食にありつく。ちなみに「アイビー」とは、「蔦」のことである。元紡績工場の赤レンガに多過ぎるぐらいいの目にしみるような5月の緑の蔦、その中庭の椅子に、いさかのアルコールに良い気分になり青天ではないが大空に真正面に相対して、うたた寝をする人、童心に返ってアイスクリームを嘗める人、ワイワイ、話をする人、それぞれのポーズで休息をとる。しばし散策の後、再び美術館を訪れ日本近代洋画を納めている分館で藤田嗣治、梅原龍三郎、萩須高徳、岸田劉生、等の作品を鑑賞。この頃になると傘をさすほどではないが、帰りをせかすように小雨が降り出し、18時28分、やや強く降り出した雨のなか新神戸に帰り着く。

（米田博司）

神戸ファッション研究所
設立基金募集中！

● 7月の総会

日時／7月9日(月)P.M. 6:30~
場所／シェ・ラ・メールにしむら



図

★トムキャンティがリフレ

ッシュオーブン

ワシントンホテル1Fの

トムキャンティが21周年を

迎え店内をリニューアル。

一層お客様本位になつたと

評判を呼んでいる。

人気は立飲みができる力

ウンターバーの新設。ハイ

ボールや水割が300円か



カウンターバー

シャンソン歌手大木康子
コンサート。￥8000円

★南京町で出会う

木づくりのお店

南京町の中ほどにある

「はた珈琲店」は、ぬくも

りの伝わる木づくりの調度

品に囲まれた温かい雰囲

気のお店。香り高い炭火焙

煎の珈琲を大倉陶園やパレ

ンチノなどの素敵なかップ

でゆつくりと味わうことができる。

「落ちつきやぬくもりが感



落ちつきを感じる「はた珈琲店」

★"ポケット90" 10ヶ入を

10名様にプレゼント!

大関酒造から発売され

ているタバコ型サイズの

"ポケット90"——酒飲み

の、いや、新しいもん好きの

神戸っ子ならもうご存知?

キヤビンのような赤いバ

ッケージで容量が90ml、度

数も14.5°とやや低く今流

行のライト感覚にぴったり

というわけ。お値段も10

0円と並のタバコより安く

持ち運び自由だ。

赤いストローがしゃれて

いてアダルトな女性に好ま

れている。

このポケット90を10ヶ入りケース

（￥1000）を10名様にプレゼント

ご希望の方は『神戸市中央区東町

1-3-1 大神ビル9F月刊神戸

子「ポケット90プレゼント係」迄ハ

ガキでお申込み下さい。7月末締切

受け取りに来られる方に限ります。

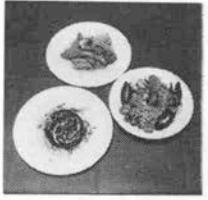
七月二日夜

元町駅前通りのチーズケーキ
やアップルパイ、ガルソン
ヌのチョコレートケーキも
楽しめます。

●神戸うまいもん
とドリンクイング
欧風料理とデザートの店
ブランセリー・
ド・ラ・ポスト

□中央区元町通1丁目3-1 奥田
商店2F 電331-5345
9時~30PM 第1・3日曜休
元町5丁目本店もよろしく
電341-3410

学生街としても、神戸
では名高い岡本に、新し
くできた欧風料理の店。
スタッフの平均年齢は24
才。若さでムンムンの活
気溢れる"バリ市民の社
交場"といった感じ。場
所からいつて、若者が多
い?と思うかもしれない
が、和気藹々とアメリカ
人一人でも一杯。お料理
教室と題した、各自のお
得意メニューを印刷した
プリントもなかなか好評
である。お手軽な料理、
ワイン、ビールなど、す
べて"ボクたちにおまか
せ下さい"と若いスタッ
フは、はりきっている。



こんなお料理が自由自在に

ヨーロッパ、ガルソン
ヌのチョコレートケーキも
楽しめます。

奥のレストランルームが最
適となつていて。ニューメ
ンバー、中田実郎氏のピア
ノ演奏も楽しみ。

各種コーヒーはもちろん
じられ、使い込むほど味が
出る"木"が好きなんです
コーヒーを飲むだけでなく
店全体をのんびりして下さい
ね」と畠芳弘店長。

このボケット90を10ヶ入りケース
（￥1000）を10名様にプレゼント

ご希望の方は『神戸市中央区東町
1-3-1 大神ビル9F月刊神戸
子「ポケット90プレゼント係」迄ハ
ガキでお申込み下さい。7月末締切

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより

SPOT

● 神戸で初の“アンティックドール・オルゴール展”

6月4日～10日まで

ベニーモー・ブリュなどの幻の名作、約100点を集めた“アンティックドール・オルゴール展”が開館1Fにおいて、天才人形師であるジユモー・ブリュなどの幻の名作、約100点を集めた“アンティックドール・オルゴール展”が開



△幻の人形△が集合

19世紀から20世紀にかけて、天才人形師であるジユモー・ブリュなどの幻の名作、約100点を集めた“アンティックドール・オルゴール展”が開館1Fにおいて、天才人形師であるジユモー・ブリュなどの幻の名作、約100点を集めた“アンティックドール・オルゴール展”が開

FRESH

● 株式会社ミキモトの本社から藤江俊彦さんが、輸出・



藤江俊彦さん
卸営業部・業務課長として転勤して来られた。真珠の輸出から総務人事、庶務会計までほとんどすべての仕事を担当される。

「素敵な女性がいるな、と思うと真珠のバイヤーだったり(笑)、神戸は本当に女性のバイヤーが多いのでびっくりしました。とにかく神戸は初めてなのでまだまだ勝手がわからないんですが、できれば、山本通りにも小売店を造りたいな、と考えております」と抱負を語ってくれた。

SHOW

● スプリングスペシャル“キタノ・ナイト”ル・レストラン・ナイト“ペドロ&カプリシャス”を招いてディナーショーを開催。

デビューコンサート“別れの朝”をはじ



トロピカルムードいっぱいの伝言、「五番街のマリーへ

FAIR



実演中のスピニングでオーストラリアンフェス

● オリエンタルホテル“太平洋の宝石”シドニーの美しい港に代表される

され

たのはオーストラリア直送の原毛を使った“スピニング”(羊毛の手紡ぎ)。これは、オーストラリア独自の手法で、野性的な糸を紡ぐもので、次々と紡ぎだされるスピニングの実演は特に若い女性からミセスにまで人気が集中した。

現在“手づくりの良さ”が見直されつつあるが、“自分だけの糸をスピンドルや糸車で紡いで、あなたのオリジナルを”と、今秋、9月には毛糸スタジオもオーブンの予定。

別料理も好評。

とりわけ、人気的とな

るみオーストラリアの特

式会社氣付

問合せ 株式会社、ヤラ商会

電331-5581/宮地汽船株

一などヒットソングをはじめ、今年1月21日に発売されヒットチャート上昇中の新曲“横浜レイニーブル”を披露。最後はお得意の強烈なラテンロック。

春の終わりを飾るトロピカルなキタノ・ナイトであつた。

また、7月14日には、姉妹店のレストラン・プラン・ドウ・プランで風かおるさんが開かれます。ショーライム／18時30分・20時45分￥14,000(税・サ共)

□ レストラン・プラン・ドウ・プラン (321) 1455



PEOPLE

<22>



●伝統を守りながら新しい味も皆様に
石坂 勇さん <神戸オリエンタルホテル副支配人・料理長>

オリエンタルホテルに勤めて36年というから、戦後の神戸とともに料理一筋の大ベテラン。「古典的なフランス料理を大切に守りながら、かつ時代とお客様のニーズに応えたいですね」とニッコリ。57年のルクセントブルー第1回ガストロノミ展で金メダル。昨年は大阪城築城400年祭の大坂グルメフェアで準グランプリ。

●リザ・サロンに
リザ・サロン△神戸本店▽センタープラザ3Fに、メッシュの靴でおなじみの「ステファン・ケリアン」のコーナーがオープン。それを記念して、ステファン・ケリアン氏が5月19日、神戸本店を訪れた。

大牧晴男(リザ専務取締役)とのテーブルカットの後、来られたお客様とティーパーティ。

「一つのシルエットにこだわらず、その日のファッショングでいろんな靴をはいてほしい」とケリアン氏。

この夏、あなたもメッシュの靴を一足いかが?

●UCCコーヒーの上島珈琲(社長上島達氏)が同社富士市増場(静岡県富士市増場)の敷地内に建設中だった研修センターが完成

これは、コーヒーの木がどのように栽培され、成長するかまた、工場の製造ラインも目でわかるようにするもので、わかるようにするための視聴覚設備として16ミリ映写機、スライド映写設備のは、ビデオプロジェクターやオーバーヘッドプロジェクタなどが完備。また、2階では

●TOPICS
鳥羽井(社長上島達氏)が同社富士市増場(静岡県富士市増場)の敷地内に建設中だった研修センターが完成

これは、コーヒーの木がどのように栽培され、成長するかまた、工場の製造ラインも目でわかるようにするための視聴覚設備として16ミリ映写機、スライド映写設備のは、ビデオプロジェクターやオーバーヘッドプロジェクタなどが完備。また、2階では



●バスルームのオ・イ・シ・サ
本高砂屋のバスバーラを
甘さをおさえたシャーベストフルーツの生きた香りを運ぶゼリー、なめらかな口あたりのムース、と豊かな夏のデザートをセットで10名様にプレゼント。アフタースポーツに、ミセスのホームパーティーに楽ししさえることでしょう。



PRESENT CORNER

応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F 「月刊神戸っ子」 神戸百貨店会ブレゼント係までご応募下さい。7月20日消印まで有効です。当選者は神戸っ子から当選葉書を発送、葉書を持ってお出かけ下さい。

●大丸前・つるや衣裳店では、コーヒーを科学的に分析する研究検査室も設置されています。建築面積は1階が100平方メートル、2階が120平方メートル、屋階14平方メートル、い。
●(391-6806) リザ・サロン△神戸本店▽

●(391-6806) リザ・サロン△神戸本店▽センタープラザ3Fに、メッシュの靴でおなじみの「ステファン・ケリアン」のコーナーがオープン。それを記念して、ステファン・ケリアン氏が5月19日、神戸本店を訪れた。

大牧晴男(リザ専務取締役)とのテーブルカットの後、来られたお客様とティーパーティ。

「一つのシルエットにこだわらず、その日のファッショングでいろんな靴をはいてほしい」とケリアン氏。

この夏、あなたもメッシュの靴を一足いかが?

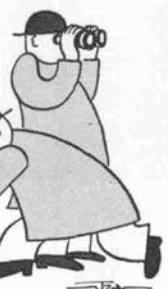
●(391-6806) リザ・サロン△神戸本店▽センタープラザ3Fに、メッシュの靴でおなじみの「ステファン・ケリアン」のコーナーがオープン。それを記念して、ステファン・ケリアン氏が5月19日、神戸本店を訪れた。

大牧晴男(リザ専務取締役)とのテーブルカットの後、来られたお客様とティーパーティ。

「一つのシルエットにこだわらず、その日のファッショングでいろんな靴をはいてほしい」とケリアン氏。

この夏、あなたもメッシュの靴を一足いかが?

ポケット ジャーナル



★ギャラリーさんちか●日仏科学技術シンポジウム実見を語る—フランスの宇宙開発映画上映、TGVロケット等の最先端技術を紹介—/7月12日1時神戸国際会議場40号室
●特報記念座談会—私のフランス観—/7月14日1時半神戸国際会議場メインホール(NHK農村尚徳局長と立命館大学名誉教授谷岡武雄氏の対談)

★来春、淡路島全域で

「くにうみの祭典」開く

淡路島といえば、国生み

の神話

でつと前売券(2割引)

が発売された。8月末まで

の限定発売で、海外旅行招

待などの特典もある。

△前売券▽大人1600円、中・高

生960円、小学生800円、幼児

320円。問い合わせは「おのころ

アドバイス事務局」(☎361-18

635)まで。

★神戸フランス週間開幕を

機に日仏の画家が交流

洋画家二紀会の西村功氏

が5月30日~7月3日まで

渡仏、神戸港と姉妹港のマ

ルセイユで、同地の画家

一馬が「2001年への出

発」とあるように、これは

兵庫県が進める「南北緑の

回廊計画」への一大プロジェクトといえる。

「淡路ファームパーク」「大

鳴門橋記念館」だが、全体

で130万の入場者を見込

んでいる。

現在、バラエティー豊かな

イベント企画と会場建設

が進められているが、5月



西村 功

●ルイ・ヴィトンのすべて展/7月3日~8日
●神戸国際絵画展/7月5日~10日・ギャラリー

さんちか●西村功展/7月12日~17日

誕生日
ありがとう

山田さんからの
あたたかい贈り物

本運動は、みんなのあなたたちがい福祉の心に支えられて、順調に発展しています。

この五月八日の本運動の十九周年にふさわしい心あたたまる話を紹介いたします。

五月十一日、三宮の国際会館内神戸ワインクラブ(長島隆会長)が、5周年を迎え、相

互にワイン通が集まるインパーティが開かれた。

さすがにワイン通の会だ

けあって、当夜飲んだワインは、期待の神戸ワインを

アドバイス事務局(☎361-18635)まで。

△神戸フランス週間開幕を

機に日仏の画家が交流

洋画家二紀会の西村功氏

が5月30日~7月3日まで

渡仏、神戸港と姉妹港のマ

ルセイユで、同地の画家

一馬が「2001年への出

発」とあるように、これは

兵庫県が進める「南北緑の

回廊計画」への一大プロジェクトといえる。

「淡路ファームパーク」「大

鳴門橋記念館」だが、全体

で130万の入場者を見込

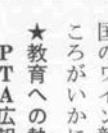
んでいる。

現在、バラエティー豊かな

イベント企画と会場建設

が進められているが、5月

が進められているが、5月



★教育への熱意ムンムン
PTA広報紙コンクール

“活力ある子育て”をめざし、家庭教育の原点を問

652

神戸市中央区御幸通八一六
神戸国際会館1階の郵便局の隣

胸に本運動はさらには前に進みます。

誕生日ありがとうございます運動本部

二五二一八一六一内線三二六

Hot & Ice "Take One"

の結婚式を特別企画中。

平安閣ならではの豪華なティクアウトのショップが誕生する。

□ステンドグラス教室生徒募集中北野町4-8-1 電242-11637

★一生一度の想い出を平安閣で実現しませんか

文金高島田に掛け姿は女性には永遠のあこがれ。

でも結婚式の夢を実現できなかつた方もいるという

話を聞きますが、そんなお二人にぴったりの思い出づくりをと、現在、総合結婚式場の平安閣が「二人だけ

★電気屋さんの2階へ上ればモダンなギャラリー

三宮の中心、三宮本通り

5月6日、ギャラリー・

木目を生かした、ちよつと山小屋風のつくり。でも

脱帽もするが、これでいいのかなという気がしないでもない。

つまり、行政はあくまで市民のための行政でなければならぬ。もしも少しでも市民の商売に直接、間接に影響を与えるものであればこれは矛盾がある。こんなところは為政者の細かい心配りがほしいところである。

最近は神戸市も文化行政に非常に熱心である。

非常に積極的な行政と

も間もなく発売されるということがある。「神戸ワイン」も間もなく発売されるということである。

戸市株式会社の猛進はして全国第一を誇る「神戸石」という外はない。

勿論、敬意も表するし

花時計



文化と行政の谷間

今度、神戸市が神戸の「水」を売ることになつたという。「神戸ワイン」

も間もなく発売されるということである。

非常に積極的な行政と

して全国第一を誇る「神戸石」という外はない。

戸市株式会社の猛進はして全国第一を誇る「神戸石」という外はない。

勿論、敬意も表するし



式場の平安閣が「二人だけ

★電気屋さんの2階へ上ればモダンなギャラリー

三宮の中心、三宮本通り

5月6日、ギャラリー・

木目を生かした、ちよつと山小屋風のつくり。でも

脱帽もするが、これでいいのかなという気がしないでもない。

つまり、行政はあくまで市民のための行政でなければならぬ。もしも少しでも市民の商売に直接、間接に影響を与えるものであればこれは矛盾がある。こんなところは為政者の細かい心配りがほしいところである。

最近は神戸市も文化行政に非常に熱心である。

非常に積極的な行政と

も間もなく発売されるとい

うことである。

戸市株式会社の猛進はして全国第一を誇る「神戸石」という外はない。

勿論、敬意も表するし

こここの特徴は、なんといつても、照明で、太陽光に近い光灯をつかっており

平安閣ならではの豪華ないけい光灯をつかっており

コミで3万円という格安料

金。10名までのミニ披露宴で10万円。あなたご自身、

あなたのお知り合いの方にそつと教えてあげるもの、

粹な取りはからいだと思いませんか。(9月15日まで)

■問い合わせ 神戸平安閣(078-351-13390)阪神平安閣(0

5-413-3330)の堀川昭

年さんは「アマチュアの芸術家に安い料金で、スペー

スを提供したい。とにかく

今は、少しでも長く続けていくだけです」と静かに語ってくれた。

■住所/中央区三宮町2丁目9-11

■時間/10時~19時(水曜休)

■使用料/¥1,000、000(6日

間)



オーナーの堀川昭さん(左)と堀川昭さん(右)

KOBE POST

★摩耶山天主堂(伊藤淨嚴翁主)の金堂立柱式が、5月26日に、同寺金堂興建聖地で厳そに行われました。

★作家堀尾太一氏(池口小太郎/史子)が、住所を移転。〒150東京新宿区愛用町2ノ5 電03-(33)5200事務所は從来通り。東京事務所〒102東京都千代田区四番町5ノ4-209サンビューハイツ四番町209号 電03-201-100大阪事務所〒530大阪市北区梅田町1ノ1ノ3大阪駅前第3ビル91号 電06-(34)76-70

★邦舞家の花柳露豊氏が、この程花柳寿興と改名されました。〒650神戸市中央区花隈町10番2号 電078(31)10-57

★神戸市民文化振興財團の常任理事兼事務局長の三輪素士さんが退任され、4月1日より大河原徳三さんが着任。市民リクリエーション課の吉田義武さんも文化振興財團へ

★画家の初田寿さんへ京ノ宏美/努Vが5月に転居されました。〒658神戸市東灘区住吉東町1丁目6号 電080-080-080

★アサヒフアミリー・ニュースの名編集長として人気のあった重森守さんが、朝日新聞社を退社。このほど神戸新聞セントラル席に席を置いて、この秋の創刊する「味の雑誌」(未定)の編集長に迎えられた。

★徳島市のタウン誌『あわわわ』が株式会社あわわわとして新体制。事務所〒700徳島市佐古6番町4-23(ヤタケビル2F)古8番町4-23(ヤタケビル2F)電0886-(54)3824

★カネボウブティック株式会社(神戸元町)クリスマンディオールブティック(黒田夏代店長)が6月1日より元町のパルパルレB1に新装オープン。〒650神戸市中央区元町通3ノ9ノ8-8/バル

パローレB1 電(078)391-1046

•山形や裕久コレクション15•



お客様にお出しする器は
すべて古陶器の逸品です。

●今月の一品●

「八寸皿染錦竹に福良雀」

藍染付の竹に金色で福良雀をポンと飛ばした図
柄は、いかにも涼し気な感じ。江戸時代後期の
伊万里焼きです。

※他に印判手富士に龍図小皿、伊万里菊図刺身皿、明治のガラス徳利・猪口



山形や 裕久
焼鳥 釜めし

神戸市東灘区本山北町3-11 本山市場東 (阪急岡本・国鉄摂津本山各駅から徒歩3分)

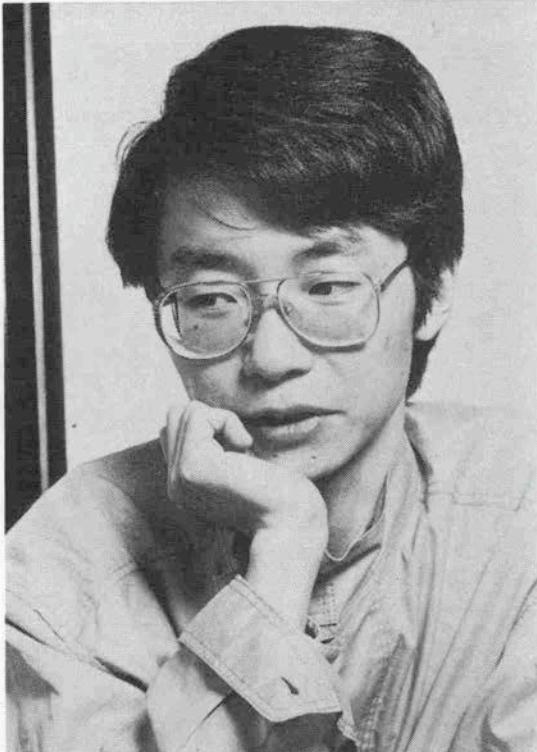
電話 (078) 452-2905 午後5時-10時 月曜休 (駐車場が近くに変わりました)

※焼鳥コース (皮・ズリ・きも・ねぎ身・ミンチ・野菜2種類) 他に、

季節の風味として五目山菜釜めしの美味しいシーズンです。

スキゾ・キツドは今日も いかがわしく遊走する

浅田 彰（京都大学助手） VS 多田智満子（詩人）



「港町っていうのはあんまりお祭りを必要としないんじゃないかな」浅田さん
多田 浅田さんは一度京都でお会いしましたね。
浅田 ええ、確かに人工宝石についての座談会で。何となく宝石にちなんでファッショナブルに出会ったわけですね（笑）。
多田 あの時にね、私なんか読んだこともない難しい本のことが、頭の中に連発銃の弾丸のようになんで飛んでしまって、機に応じてポンポン飛び出してくるのですから、もうすっかり舌をまいちゃつて、これは大変なアンファン・テリブル（怖るべき子供）だと思つた。案の定、それから間もなく世界が浅田さんのことをアンファン

専門家向けに書いたという難解本『構造と力』がたちま

ちベストセラー、とともに筆者の浅田氏も今や若者のアイドル的存在に、というフシギな世の中。スキゾ・キッド浅田氏と多田女史のこれは無責任な交通事故的対談。

“構造と力”は知的権威というより、ほとんどアイドル本

・テリブルといって騒ぎ出たのですよ。

浅田 全然ダメ（笑）、全部ナナメ読みですよ。

多田 で、また驚いたことに私の今まで読んでおられた。それはモチロン、カンベキに読んでおりますね（笑）。僕は神戸生まれということもあって、神戸の港町としてのオープンな雰囲気や瀬戸内海のもつてゐる一種地

中海的な明るさみたいなものがスキで、多田さんの作品なんかもそういうものの一端を伝えてくれるので愛読しているんです。なんちゃって(笑)。ホントですよ。

多田 ありがとうございます。朝日ジャーナルに、浅田さんの本棚の写真がカラーでうつっていましたが、私が何冊かならんでいるのを見て、感激してたんですけど(笑)。しかし浅田さんは今やタレント並みの忙しさみたいで。

浅田 アハ。でも僕は基本的に電波のメディアは一応シャットアウトしたので、わりとのんびりしてるんですね。

多田 時間的なあとさきで言うと『逃走論』の最初の、

あの大変:

浅田 いかがわしい(笑)。

多田 いえ(笑)、あのポツッとした感じで書かれたものと、

『構造と力』の正面切ったものと、どちらが先に?

浅田 やっぱり最初は『構造と力』のほうですね。でもそういうカタイものに飽きたから軽くやろうって感じじやなくて最初から同時進行をめざしていたんです。

多田 『構造と力』も、あれ内容は大変高度なものだけれど、とても軽快に書いてある。で、ついつられて読まされてしまうというか(笑)。

浅田 普通ね、軽薄短小文化が飽きられてきたからもつと重厚長大なものがウケるんだっていう言い方で『お勉強ブーム』が位置づけられるんだけど、僕の場合はむしろ軽薄短小のまで学問をしたっていいんだ、というスタイルで全部突っ走っちゃった。まあ真理をキワメルつていう重たい感じよりもチャートにしてカードゲームをやってみよう、という軽い感じで書いてるつもりなんです。でもまだまだそれでも重たいわけで(笑)。

多田 ええ、あれ初めのうちは、正直言って、難しいと思いました。記号論などの専門用語が何の説明もなく次々出てくるんですね。多少本を読んでる人なら、ドクサやエントロピーぐらいは我慢するけれど、リゾームだのネグントロピーとなると、もう許せない!って感じ(笑)。でも浅田ベースに慣れてくると読みやすくなつて、後半はもうすっかりわかつたような気になりました。

浅田 ついついノセられちゃうといふ(笑)。逆にこちらから言うと

ノセちやうわけ。たしかに『構造と力』は記号論なんかの知識を予めもつた特定の読者を対象としてますからね。それとね、僕が怠惰でいちいち説明するのがめんどくさくて(笑)。それにしても全然途中を説明しないという手抜き本なので、ほんとサギに近い(笑)。

多田 だけどね、それが成功したんですよ。『依らしむべし、知らむべからず』という態度ね。大衆はこの種のものに弱いんですよ。でもあの本、やっぱり普通の人にとってはとつつきにくいです

「祭りって、本来的には、事故が起こるくらいのが本当でしょうね」多田さん





それがこの頃は自治体が「神戸まつりですよ」と主導してやるわけ。ああいうのをどうご覧になります? 浅田 いやあ、ゴクローサマだと思います(笑)。聖なるものがなくなつた時に、それを人工的に創り出そうという欲望がでてくるのは自然だけど、やっぱりそれは人工的なもので、ずいぶん奇妙なものにならざるを得ないでしょうね。

多田 ごてごて盛りだくさん花はあるけれど、結局根のない祭りですから。

浅田 僕の港町のイメージは、あまり祭りを必要としない町っていうイメージなんです。例えば山の中なんかの閉ざされた村落や農耕共同体だったら、年に1回くらいはうさを晴らすために何かやらなきやいけない、外部の力を導入することで共同体を蘇生させなきやいけないんです。でも港町はのっから外部である、というか、色々な世界とのコミュニケーションの束としてあると思うんです。海の上で、ただ交通のネットワークとしてだけ存在するような都市では、常に外に開かれているがゆえに、わざわざお祭りなんてしなくていいんだ、という雰囲気があつて、僕はそういうのが大好きなんです。

多田 この頃は祭りというコトバが非常に不正確に使われていて、何かこう派手なスペクタクルがあつて人が集まれば何でも祭り、ということになる。

浅田 そうそう。でもベニスの祭りでもね、あれは謝肉祭としては退廃した形態で、祭りが単なるスペクタクルになつてゐるわけですが、そういう風に俗っぽく外へ開かれているところが港町の魅力で、僕はそこにわざわざ農耕共同体原理に基づく祭りみたいなものを持ち込む必要はないんじやないかしらって感じがしますね。

多田 よく神戸市株式会社って悪口言われますけれど、その神戸市主導で神様不在の祭りをやつて。強いて神様と言えば、いわゆる「諸商品の神としての貨幣」が行き交うだけで…だから本来的な祭り、つまり過剰なものの中に一度そこで使い尽くし、共同体を活性化させる

神戸ってあまり祭りを必要としない町じゃない?

多田 ところで今、ちょうど神戸まつりでしてね。

浅田 あれはいいたいなんですか(笑)。

多田 その、お祭りって本来神様をまつるものですね。

ような祭りじゃない。

浅田 ナイデスネー。

多田 何年か前に神戸まつりで車をひっくり返したり、

火をつけたりで死者がでたでしょう。もちろんあんなことはあってはいけないですが、本来の意味からすれば、あれが本当の祭り的なるものでしようね。

浅田 そう。率直に言って人が死なないような祭りは祭りじゃない。その事故をきっかけにして、祭りを安全にしていこうなんてことが起こってくる。そうするとますますツマラなくなる一方ですね。

多田 初めから機動隊が出動して、騒ぎそうな連中をシヤットアウトしますものね。

浅田 だからあれは二重三重にへんなお祭りだナア。

神戸みたいに記号論的構造がハッキリしてゐる町もないナ

浅田 僕は、神戸について、ある意味でシンボリックな構造がこれほどハッキリしている町もないと思うんですよ。(笑)つまり山側と浜側、そして大阪側と神戸側という2つの軸があるって、ものすごくハッキリした差異の構造があるでしょ。

多田 そうなんですよ。電車でも山の手から海へ、阪急、国鉄、阪神どちらと3通りのレベルがあるわけ。

浅田 それで大阪に近づくほどダサくなるとかね(笑)。

こんなに記号論的構造がハッキリしてると、余りにハッキリしすぎて小説も書けないんじゃないか!(笑)、つまり山側で神戸寄りの人と浜側で大阪寄りの人が恋愛をおちいった場合、どういうダイナミクスが働くかというこ

とがほとんど予定調和的に読めちゃう(笑)。それに神戸

つて海に向つて開かれていると同時に、陸の上にも定住する町、つまりある程度固定的な構造がハッキリしている、非常に土着的・定住的要素も強い町でしょ。そのへんが複雑なところだという気がしますね。で、その固定的な構図がかなり強く人を拘束したりする。

しかしふァッショーンなんかはどうなのかな。やっぱり東京の人なんかが見ると、ファッショーンっていうのは神戸あたりではじまるんだ、っていう神話はありますけどね。

多田 それは神話でしょうね。今やもうどこだって、ほとんど均質化されてるでしょ。

浅田 田中康夫さんのファッショーン評論によると、この阪神間が本當なんだそうですよ。それはもちろん東京に居て、そことの差異をつくるためのストラテジーとして言つてゐるわけでしようけどね。

多田 なるほどね。こつちは△全然違ひのわからない人△なものだから(笑)。

浅田 田中さんの論理は僕が言うのと逆ですね。東京だと常に流動していく新しいものがどんどん出てくるんだけど、それは一過性のものにすぎない。でも神戸だといわゆるブルジョア的構造がキチンとあって、それを背景にしていいとこのお嬢さんが遊ぶから本当のファッショーンなんだ、っていうロジックなんです。僕はあまりそれは信じないのでねえ(笑)。

全ての交通は“交通事故”でなくちゃ

多田 この間、阪急六甲で電車の衝突事故があったでしょ。うちは主人ともども物見高いもんだから(笑)、二人して見にいったんです。昼前の事故だったのに、夜になつてもまだ踏切はふさがりっぱなしで、暗闇の中に事故現場が煌々と照らされていて、その辺に見物の車が止め放題止つて、まるで無法地帯。巡查も黙認です。それから面白かった。普段とまるつきり違うのね。で、衝

突した電車を切斷しているのが、パツパツと火花を散らしていく、それがまるでお祭りの火のように見えるわけ。それを大勢の野次馬が生き生きした顔して見てるんです。

浅田 突発的なお祭りだったわけですね。

多田 そうなの。完全な祝祭空間ができあがつてました。うちは六甲だから地の利をめぐらしくて存分に見物できたわけですけど、何だかさつきから無責任な話ばかりで、こんなこと言つていいのかしら(笑)。

浅田 いえ、実は僕も事故はスキの方でね(笑)。

多田 昔から『火事とケンカは江戸の華』とか言つて、ああいうものはやっぱり楽しいものなんですよね。普段起らないことが起つて、日常のルーティンを破るワケですから。

浅田 僕は『交通』というコトバをキータームに使つているんですけどね、『全ての交通は交通事故である』といふテーゼがあつて、本当にオモシロイ接触が起つた時には、交通事故のお祭り騒ぎ性みたいなものが必ずでてくると思うんです。それはもちろん、そんなに派手な事故でなくともいいんで、例えある本とパツとぶつかるとか、ある人と喋つていて、パツと合つちやうとかいう風なことがあると、普段見慣れてる構図と全然違つた図柄がそこに出でてくる。そういう予想外の事故が突発するのが本当の意味での『交通』じゃないか、という気がしますね。あらかじめ予想がついて、それがだんだん確認されていくコミュニケーションってのはやっぱりまらないと思うんです。で、知的世界に関していうと、日本の場合、そういう本来の意味での交通が少なすぎた、ということがありますね。日本はヨーロッパやアメリカに対しても開かれてるよう見えるけど、最終的には余り事故が起らないような格好でコミュニケーションしてます。

多田 日本って根回しとかいうものを重んずる社会だから、あらかじめある程度の合意をえておくでしょ。

浅田 そう。先に土俵を作つといて、その上で出会わせ

るから、たかだか土俵の中で全てが済んじやう。土俵のない所でスパンと当つた時に、大事故が起つていい面白さがないんですね。

多田 国会なんてそのいい例ですよね。事前調整ばかりやって、突発事故が起らない仕組みになつていて。

浅田 それこそ電車と電車が衝突するくらいのメチャクチャなことがコミュニケーションの世界でも起り得るはずだし、それが起つた時にはじめてエキサイティングになると思うんですけどね。

今日のソフィストはいかがわしく遊走する

多田 そういう意味では、A・A現象なんていふのは、かなり予想外の現象で面白いんじゃないですか。

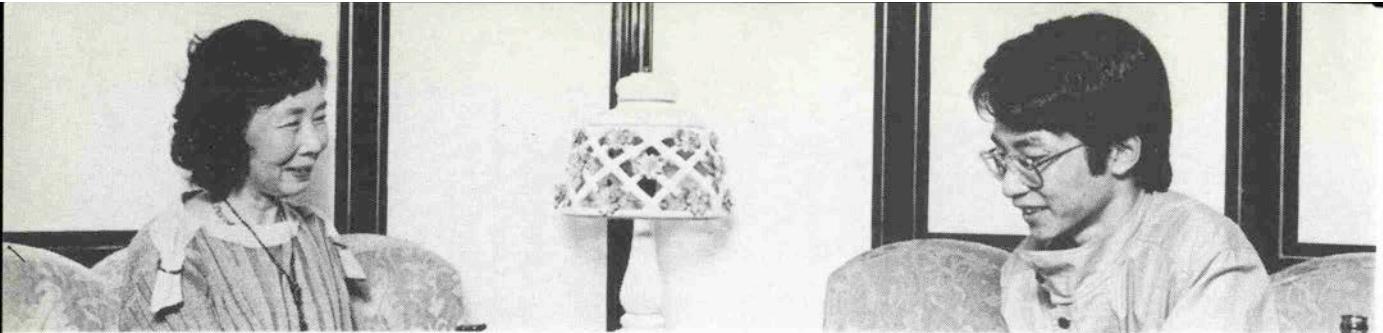
浅田 ウーン、そうかなア(笑)。いつも言つてゐるんだけど僕を『天才、天才』って言うけれども、あれは『天災』のほうだ、つて(笑)。かなりの天災であったには違いないですね。でも僕はわりに無責任でね、事故に関しては責任をとりきれない、つていう思想なの。あえてそこは無責任に突っ走ればいい、と思つてゐるんです。

多田 それは『逃走論』なんてまるでもう無責任の見本みたいなもので(笑)。

浅田 アハハ。あんな無責任なこと言つてもいいのか!

(笑)つてなカンジ。あれは確かに一種の自己矛盾ですね。『逃走論』っていうタイトル自身、自己矛盾なんですよ。『逃走』を整合的に論ずる、つていうのが第一おかしいでしょ。それに『逃走せよ』つまり勝手に逃げろっていうメッセージは、このメッセージにも従うな、つていうことを暗示してますからね。でも、それをあつけらかんと言つちやつた方が、まあ、読んだ人が元気にならんじやないか、という気がして(笑)。それで非常に無責任にもヌケヌケと言つちやつたわけです。

多田 少くとも色んなところにコレステロールのたまつてきつある人間にとっては、いい冷水摩擦になりますよ、ああいうの読むのって。



浅田 僕は小学校の頃、わりとよく転校したことがある。転校を重ねると基本的にソフィストになるとと思うんですよ。例えば給食を残すことは絶対悪いのだ、という学校もあれば、そんなの全然どうでもいい、という学校もある。あるいは先生が教室に入つて来る前に起立しなきやならない所もあれば、入つて来た後で起立する所もある。そういう文化の違いをいくつか通過すると、ソフィスト的な眼を身につけちやつて

ね、"なーんだ、こんなのが全くこの文化に特有の約束事じやないの"っていう風に裸の王様的なことを言いたくなっちゃう。それをトコトン言うと、ああいう本になるわけ。そういう意味で僕は自分自身"交通"や"移動"を知的に体現したっていう欲望がすごく強いです。だいたいソフィストや知識人って色んな都市を巡り歩いては、これはヨソでは違うんだぞ、なんてこという人でしょ。僕はそういうのが非常に好きですね。

多田 昔の人は今みたいに

ラジオやテレビで他の土地のことを知ることができなかつたでしょ。だから旅人っていうのが他所からの情報をもたらす人で、旅人をもてなし、珍しい話を聞くことがとても楽しみだった…。

浅田ええ、それはすごく大きな快樂なんですよ。閉じた共同体だと結局同じ情報をくり返すので、それが摩耗していく、皆、退屈しちゃう。旅人が来た時にやつと異質な情報が入ってきて、それがハイブリッドな異種交配を生み出す。それが知識人の原型だと思うんですよ。

多田 彼らが一種のメディアだったんですね。

多田 でも学問の分野などは特に、近代になつてハイブリッドなもの排除してしまつて、全部専門領域がハッキリしてきているでしょ。他のことに興味をもつと"アイツは専門家のくせに"なんて見方をされちゃつて。

浅田 だから、もともと知識人っていうのは、そういうメッシンジヤー的な旅人であつたはずなのに、何か非常に狭い所への定住を強いられてるところがあつてね。だけど知識なんでものは、それを得たとんによそへいや応なく開かれていくようなもの、自然とブワーッと横断的に結合しちゃうものなんですね。

多田 ですから専門化がひどくなる一方では、いわゆる学際的な動きも出てきていて、非常に巾の広い人物も出てきますね。それから学際的というような上品なものではなく、もつと雑学的な。浅田さん書いてらしたわね。

「いわゆる知識人たちのはずかし気もない雑食ぶり…」
浅田ええ、"みさかいのない雑食ぶり"（笑）それは一種不可避なものとしてありますね。恐らく19世紀の学問

の職業化・制度化ってコトがそういう分散的な定住化を強いたと思うんですよ。それはずいぶん無理なことで、もうそろそろ限界に達しつつあると思います。僕はね、自分が港町生まれだという意識をなんとなく昔から持つて、それが旅するソフリストだつていう意識に変容し、最終的には脱領域的・横断的に知的な遭遇を求めてうろつき歩く、ということになつちやうんだけど、それは一種の生理として身についちゃつてるんですよ。

多田 そうね、浅田さんは非常に軽快に走るというか……

浅田 イエ、いかがわしく遊走するというか（笑）。

多田 そうねえ。遊走つてカンジね。

ハイテク時代の宗教ブーム、おそろしいネ

浅田 最近よく思うんだけど、この“お勉強ブーム”っていうのは割と早く終息してね、代りに宗教がすごく流行ると思うんですよ。すでにもう、本屋の精神世界のコーナーの本つてすごく売れてますけどね。

多田 “お勉強ブーム”つてつまり？

浅田 僕の本なんかが売れるコトね（笑）。お勉強ブームつて、根拠が何もなくなつちやつたら、あらたな根拠を求めて勉強でもするか、つていうことなんだけど、勉強つて結構シンドイし、本気になつてやりだすと逆に根拠がないつてことが分つちやうものだから、あまり助けにならないんですよ。宗教、とりわけ大衆芸能的なものと結合した宗教は、その点一層手軽な根拠になるわけ。例えば阿含宗のように大衆化した密教のようなものが流行つてますけど、そこではハイテクノロジーと密教とが結び付くんだ、ということで、レーザーとかシンセサイザーを駆使して派手なショウみたいな祭典をやるんですね。それと、松任谷由実や松田聖子のコンサートとは、結局お互い模倣しあつてるので、宗教的な盛り上りをつくつてるんですよね。

多田 松田聖子が御神体になつちやう！

浅田 松田聖子はもひとつダメらしいですけど（笑）。で

もそうやつて安易にファッショニズム化した形で宗教ブームつていうのが起つてきていて、これはかなり強くなるんじやないかナアという印象を持つてるんですけどね。

多田 なるほどねえ。

浅田 特に、音楽とかアートとかいう回転が早くて不安定なところの人ほど、皆そういう宗教的な根拠を求めるがるんですね。解散したYMOの細野晴臣さんなんか、今はもう完全にオカルトに凝つちやつて、修行者の方をたずねて靈地を巡る、なんて世界ですから（笑）、オカシイですね。彼らはテクノロジーの粹をつくした音楽で売つてゐるにもかかわらず、すごく宗教的なものにフツといつちやう。そういうのこれから増えそうですね。

しかしね、最近ではこういうブームが小学生の間にも流行つてゐるんですね。彼らにとつては科学技術が神話的想像力なんかとワツとひつついちやう。だからテレビゲームなんかでも、非常に精緻なテクノロジーによりつつ神話の大河絵巻のようなストーリー構成をもつたものがあるんですね。あれはハイテク時代の神話的思考みたいなところがあつて面白いですね。それに学研が「ムー」という超能力ものの雑誌を出しているんですね。が、それに折り込み付録マンダラ、なんてのがついて（笑）、子供がそれを壁に張つたりして見ている（笑）なんて、ちょっとコワイですね。これがまた上昇志向に結びついたりして、超能力で記憶を良くしてテストの点を上げる、なんてことになつたりして（笑）。これはイッタイゼンタイどういう世界なのか（笑）、つてカンジですよね。だからますますハイテクノロジー的環境になるつてことと、そういう一種プリミティブな原始宗教がでてくるつていうのが同時にすむようですね。我々はむしろ旧世代で、今の中学生から下はホント、未恐しいですね。

多田 おもしろいわね。怖るべき子供が未来のアンファン・テリブルを「おそれる」歴史は繰り返すんですね。

△六甲／ブルー・マウンテンにて／撮影／渡辺 泰臣



兵庫県産但馬牝牛

初夏の北野に“寛ぎの食空間”誕生

当初の予定より1週間程遅れ、お客様に大変御迷惑をおかけいたしましたが、お蔭様で6月27日に増新築オープンの運びとなりました。

新しく大きくなった和黒は新感覚あふれる明るいくつろぎの空間。手頃なお値段の新メニューも加わり幅



広い層の方々に御利用いただけます。季節の先取りの前菜と料理の技で焙りあげる神戸ビーフの香ばしさを存分にお楽しみいただけます。お気軽に是非あぶり肉工房和黒へお出かけ下さいますよう御案内申し上げます。

Steak
WAKKOOU

神戸

北野坂

☎ (078) 222-0678

神戸肉登録指定店